

目次

まえがき

一、神の全知全能と本書の態度……………	一
二、学習する機械——神と悪魔のゲーム……………	二一
三、自己増殖する機械……………	二九
四、続・自己増殖する機械……………	四三
五、機械崇拜の危険——魔法使いの罪の今昔……………	五三
六、機械—人間混成系……………	七七
七、社会科学とサイバネティクス……………	九三

八、ゴッド・ゴーレム商会と題す……………	101
----------------------	-----

解説——補足と批判を含めて（訳者）

まえおき……………	103
-----------	-----

一、ウィーナーの神とフレীগーラッセルのパラドックスをめぐって……………	105
二、個体と種族の学習行動の相似性——RNA記憶、条件反射の原子論、バーネットの免疫理論……………	111
三、生物と機械の自己増殖——ルイセンコ学説との関連について……………	117
四、あいまいな観念を扱う人間頭脳の能力——とくに弁証法について……………	118
五、計量的・数学的社会研究の功罪——ウィーナー、ブラッケット、ノイマンの比較……………	121
六、ホメオスタシスと人生の目的……………	126
訳者の謝辞……………	129

索引

